

科目ナンバリング		G-LAS00 80006 SJ44					
授業科目名 <英訳>	アントレプレナーシップ演習 Entrepreneurship Exercises			担当者所属 職名・氏名	成長戦略本部 特任教授 木谷 哲夫 成長戦略本部 特定准教授 松行 輝昌		
群	大学院共通科目群		分野(分類)	社会適合		使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 後期集中		曜時限	集中 10/17(土).10/31(土). 11/14(土).11/28(土). 12/12(土)	配当学年	大学院生	対象学生 全学向
【授業の概要・目的】							
<p>専門分野についての高度な知識を持つ大学院生にとって、企業という形態を通じた社会における研究成果の活用の方法や、独自の研究テーマをさらに深めるための多様な資源獲得の手法について、幅広い理解が欠かせない時代となっている。特に欧米においては研究者が事業化を目指すことで、幅広い投資家から研究資金を調達することが一般化しており、自分の志す研究を深めるために、アントレプレナーシップの果たす役割は大きくなっている。</p> <p>アントレプレナーシップの定義は “ The pursuit of opportunity beyond the resources you currently control ” ( 現在所持する資源を超えた機会を追求すること ) とされ、アントレプレナ にとって必要なスキルとしては Opportunity Recognition ( 事業機会の特定 ) と Resource Acquisition ( 資源の調達 ) が重要となる。</p> <p>本授業では、前者の事業機会の特定に重点を置き、アントレプレナーの活動をシミュレーションする。事業アイデアの創造、技術の探索、仮説の検証、ビジネスモデルの構築といった一連のプロセスを、講義とグループワークの組み合わせを通じて体感していく。</p>							
【到達目標】							
<p>受講生は、講義で具体的な手法について学ぶと同時に、それぞれの主体的な興味・関心に基づくテーマを選び、グループワークを行う。受講生は、グループワークを通じて起業のプロセスを実体験する中で、下記の3点について理解を深めることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 起業において必要な方法論、特に事業機会を特定する手法について学ぶ</li> <li>2) 起業におけるコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップの重要性について理解を深める</li> <li>3) 研究成果と社会との連結について理解を深める</li> </ol>							
【授業計画と内容】							
<p>グループワークで起業プロセスのシミュレーションを行う。以下のトピックについて、それぞれ授業を実施する。</p> <p>1日目 インTRODクション、未来年表： スタートアップのコンセプトを学習する。将来の制度や生活者のニーズの変化を予測し、事業の可能性を考える。</p> <p>2日目 海外事例分析： リーン海外のイノベーション事例分析をもとにアイデア創出を行い、発表、ディスカッションを行う。</p>							
----- アントレプレナーシップ演習(2)へ続く -----							

## アントレプレナーシップ演習(2)

---

3日目 アイディエーション：  
マイクロトレンド（ミクロな変化の兆しへの着目）、メタファー（動植物をヒントにするバイオミクリーなど）などの手法を用いて、ビジネスアイデア創出を行う。（技術イノベーション事業化コースと合同）

4日目 ビジネスモデル：  
顧客ニーズ、提供価値、収入・コストを含むアイデア全体について仮説を立て、外部インタビュー等で検証・修正を行う。

5日目 プレゼンテーション：  
最終プレゼンテーションを行う。真剣な投資検討の対象になりうるレベルを目指す。

隔週土曜日（13時 17時半）

1日目 10月17日(土)

2日目 10月31日(土)

3日目 11月14日(土)

4日目 11月28日(土)

5日目 12月12日(土)

### 【履修要件】

大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」をコース履修する際には、本科目受講後に「技術イノベーション事業化コース」を受講することが望ましい。

事前に以下の受講を推奨

「アントレプレナーシップ入門」（大学院共通、前期集中）

### 【成績評価の方法・観点】

授業中に課す個人レポート 20%

最終発表 40%

グループワークにおけるチームワーク、コミュニケーション 20%

授業への貢献（出席・発言）20%

### 【教科書】

エリック・リース 『リーン・スタートアップ』（新潮社）ISBN:978-4-8222-4897-0

### 【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

（関連URL）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ims/>（授業についての予備知識・関連イベント等）

### 【授業外学修（予習・復習）等】

授業初日に提出する事前課題あり。課題内容については授業登録者にたいしてLMS等で連絡します。

---

アントレプレナーシップ演習(3)へ続く

### アントレプレナーシップ演習(3)

#### [その他(オフィスアワー等)]

本科目は大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ受講することも可能です。

質問等がある場合は以下まで

kitani.tetsuo.2s@kyoto-u.ac.jp ( @ )

面談希望の場合は事前に上記メールでアポをお願いします

#### [主要授業科目(学部・学科名)]